平成24年度

玉野市

協働のまちづくり事業

事例集

玉野市総務部協働推進課 作成

目次

1：日の出花公園美化事業（日の出自治会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2：憩い・彩り花壇整備事業（はなくらぶ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3：環境美化活動支援事業（大崎スポーツクラブ）・・・・・・・・・・・・・・・・3
4：地域環境美化（清掃）活動（玉野市築港西広潟町内会）・・・・・・・・・・4
5：竹伐採による地球温暖化防止事業（エコライフ玉野）・・・・・・・・・・・・5
7：北方区環境美化事業（北方区自治会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
8：広岡地区の竹林，耕作放棄地の整備（広岡里山を守る会）・・・・・・・7
9：藤井地区防災訓練実施（藤井地区自治連合会）・・・・・・・・・・・・・・・8
12：「雪遊び」の行事（藤井地区自治連合会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
13：しおさと狂言まつり（玉野しおさい狂言会）・・・・・・・・・・・・・・・・10
14：第20回新春親子凧揚大会（築港東コミュニティ協議会）・・・・・・・・・11
15：東児地区ローカルヒーロー事業（岡山南商工会）・・・・・・・・・・・・・・12
16：子育てワークショップ（玉野・灘崎子ども劇場）・・・・・・・・・・・・・・・13
17：ノルディックウォーキング普及事業（パラダイス玉野）・・・・・・・・・・14
18：地域環境整備事業（たかの巣町内会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
19：藤井“里山★玉仙岩”整備活動（藤井地区里山づくり研究会）・・・・・16
20：田井歴史散策ウォーキング（田井はつらつクラブ　たいよう）・・・・・・・17
21：「塩づくりの里・山田」の歴史散策ルート作り（山田まちづくり講座）・・・18
22：SNS の活用による玉野活性化事業
　（玉野ソーシャルネット研究会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
23：宇野電子町内会　パソコン教室（宇野地区連合自治会）・・・・・・・・・20
24：渋川海岸活性化プロジェクト（玉野市サッカー協会）・・・・・・・・・・・21
26：「玉野出身アーティスト」ふるさとLIVE （楽彩工房 TAMANO）・・・・22

補助事業1:日の出花公園整備事業

団体名	日の出自治会	参加者数	延べ２６０人
活動分野	３：まちづくりの推進を図る活動	役員・会員	２１人
補助金額	１００，０００円	地区	築港
補助金の使い道	花苗，肥料，燃料費　など		

1　事業目的

日の出地区は競輪場が存在する地域であり，不特定多数の県市外の人々が集まる場所のため，イメージの向上を目指しました。また，地域の人々や近隣病院の入院者，来院者の楽しみなど心のケアも目的としました。

2　事業内容

土壌づくりから始まり，花苗を植え，肥料を散布しました。毎日水やりなどのお世話を行い，季節に合わせてチューリップやコスモスなどを咲かせました。

また，６・８・９・１０月の全４回は環境美化活動を行い，花公園とその周辺の環境美化につとめました。

3　事業効果と今後の取り組み

近隣町内の方も見学に来るようになり，近隣病院の入院患者の方にもお褒めの言葉をいただきました。

次第に多くの方々が関心を持ち活動に参加してくれるようになり，協働の意識高揚にも効果がみられました。

また，競輪場へ来場される方へ玉野市の清潔度がアピールできていると思います。

そしてなによりも子どもが花を大切にするようになったのが一番うれしいことです。

景観が人々の心へ落ち着きをもたらし，桜並木が折られなくなるなど，非行防止にも貢献しました。

協働のまちづくり事業

必要な道具が揃いました

色とりどりのお花を植えて美しく整備されました

地区で協力して美しい環境を守っています。

補助事業2:憩い・彩り花壇整備事業

団体名	はなくらぶ	参加者数	５人
活動分野	７：環境の保全を図る活動	地区	玉
補助金額	１１，４７０円		
補助金の使い道	花苗，鍬，鎌，ポリ袋　など		

1　事業の目的

玉地区は高齢化率が高い地区であり，商業活動の衰退により地域から活気がなくなり，住民活動全般が低調になっています。そこで，地域内外の人々も多く利用する市民会館前を，四季折々の花で彩り活気を演出しイメージ向上に努めました。また毎日通勤・通学で往来する方に，花の色や香りで憩いを提供することを目的としました。

2　事業内容

前年度(平成２３年度)の事業を経て，今年度は春夏秋冬四季折々の花の植え替え，定期的な手入れを予定していましたが，春と冬の二期の植え替えと花壇の手入れに留まりました。

3　事業効果と今後の取り組み

夏と秋の二期は，植え替え作業が実施出来なかったことで，一時的に花壇に彩りがなくなり寂しい景観となりました。交通量が多い場所でもあることから，ポイ捨て等が増えることを予想していましたが，幸いにもゴミの投棄もありませんでした。このことから，花壇整備事業が広く認知されていることを確認することが出来ました。

二年度に渡り補助制度を活用できたことで，当面の活動に必要な機材は揃いました。

今後の取組みとしては，苗・肥料などを購入し，四季折々の花を植えるなど，花壇整備事業を継続することにより，周辺環境・通行者への憩いを提供したいと思います。

協働のまちづくり事業

交差点を通る車からも良く見えます

市民会館前が
季節の花々できれいに彩られました

補助事業3:環境美化活動支援事業

団体名	大崎スポーツクラブ	参加者数	延べ１００人
活動分野	７：環境の保全を図る活動	役員・会員	５０人
補助金額	７９，３９６円	地区	大崎
補助金の使い道	チェンソー，草刈機，のこぎり，チップソー，長靴，一輪車，混合油入れ容器，メガネ，レーキ，ごみ袋，結束ロープ，ほうき，軍手，燃料費，飲料費　など		

1　事業目的

少子高齢化等の社会環境の変化により，コミュニティ活動や学校のＰＴＡ活動（教育施設の清掃，資源回収等）は，従来行われてきた相互扶助やコミュニティだけで担うことが難しい状況になってきました。特に学校のＰＴＡ活動については，保護者の絶対数が少なく関係者一同の重い負担となっています。このような状況から，そうした活動の一助となることを目的として活動を行いました。

2　事業内容

前年度（平成２３年度）の事業を経て，本年もクラブの活動拠点である大崎小学校・大崎保育園・八浜中学校周辺の校庭及び敷地内，隣接する通学路などの清掃活動（排水路の土砂除去，草刈，ゴミ拾い），ＰＴＡ資源回収への協力を行いました。

3　事業効果と今後の取り組み

清掃活動を行うことで，会員を始め地域住民との交流を深めることが出来ました。

今後の取組みとしては，学校のＰＴＡ活動への協力に止まらず，コミュニティ活動への参加機会も増やし活動の視野を広げていきたいと思います。また会員相互の親睦を図るとともに，地域住民の協力・理解を得られるような事業を継続的に取り組み，将来的にはＮＰＯ法人設立を目指したいと考えています。

作業前

作業後

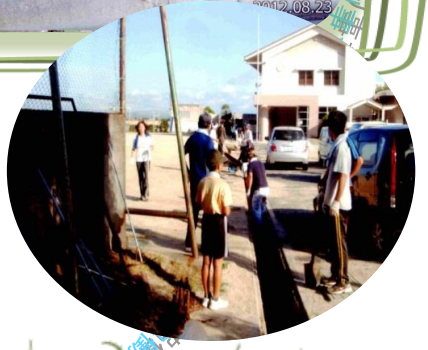
こんなに綺麗になりました。

大崎小学校周辺清掃

八浜中学校校内清掃

大崎小学校・大崎保育敷地内清掃

道具を購入して効率的に作業が出来ました。



補助事業4:地域環境美化（清掃）活動

団体名	玉野市築港西広潟町内会	参加者数	７０人
活動分野	７：環境の保全を図る活動	役員・会員	１１人
補助金額	３８，１６１円	地区	築港
補助金の使い道	草刈機，草刈機替刃，熊手，ほうき，土のう袋，軍手，セフティゴーグル，ごみ袋，燃料費，飲料費　など		

1　事業目的

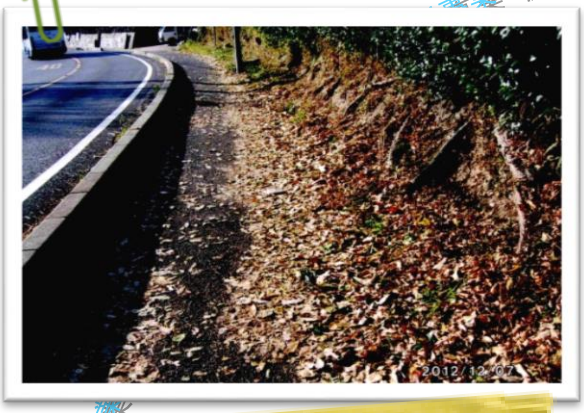
地域の道路周辺と排水路の清掃，山際から迫り出した小枝伐採・除草・路面の清掃を行うことで，環境衛生の向上と学童や周辺住民が歩道を安全に通行できることを目指します。そういった活動を行う中で，若い人たちに地域に目を向けてもらい活動に参加してもらうこと，希薄になりつつある地域住民の相互の連携と融和が出来ることを目的としています。

2　事業内容

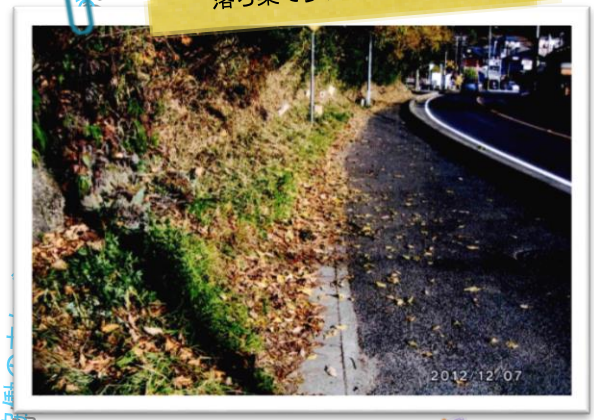
町内大掃除を５月・１２月の年２回約２時間清掃作業を行いました。
また，１２月の年末に町内有志により県道沿い歩道の清掃活動も行いました。

3　事業効果と今後の取り組み

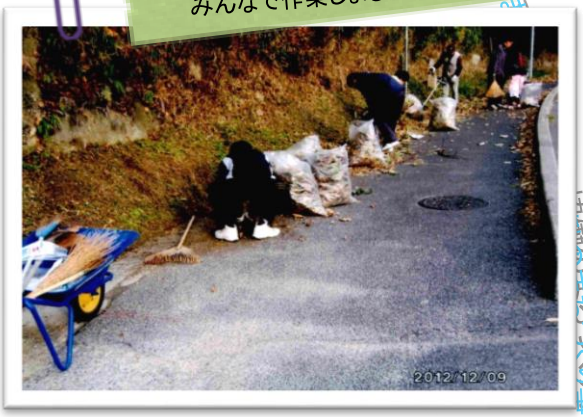
本事業を行うことで，町内会員相互の協働意識が高まりました。
また，地域の美観が保たれ，通学路の安全確保に役に立ちました。
これらを恒例行事として継続していき，夏祭り等の地域行事への参加意識も高めていきたいと思います。
今後も若い人たちの町内会への参加や，行事参加への意識の向上などの問題解消も継続して取り組みたいと思います。



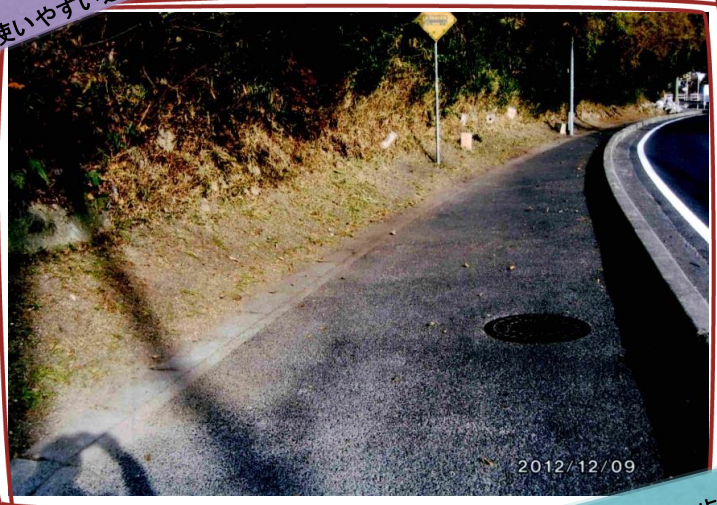
作業前
落ち葉で歩道が見えません。



作業状況
みんなで作業しました。



作業後
きれいな使いやすい道



歩道が見え歩きやすくなりました。

溝をふさいでいた木を切断しました。

補助事業5:竹伐採で温暖化ストップ

団体名	エコライフ玉野	参加者数	484人
活動分野	7:環境の保全を図る活動	役員・会員	351人
補助金額	500,000円	地区	山田
補助金の使い道	丸鋸盤，集塵機，インパクトドライバー，建材，ジャンパー，窯場水道光熱費，波トタン，チェーン，チェーンソーヤスリ，切手，燃料費，保険料，飲料費　など		

1　地域の課題

市内の山林は急速に竹藪化し，山林と竹林の CO_2吸収機能が著しく低下しています。放置すれば，34年後には市内の山林はすべて竹藪になる危険性が高いと推測されます。竹林の土壌は軟弱になり地震や大雨に弱く土砂崩れが起こりやすくなる可能性があります。竹林整備は焦眉の課題となっています。

2　事業内容

このような状況を防ぐため，竹を伐採し，適正な環境を維持し，伐採した竹で竹炭や竹酢液を生産しました。週1回，年間計28回竹材を焼いて，竹炭760．3kg，竹酢液139．9kgを生産しました。10月～3月は，毎月第3日曜日に竹伐採・運搬・切断・節取り・結束作業を行い，伐採した竹の本数は977本，削減 CO_2は29．5t相当になりました。

また，県森林研究特別研究員の方と竹伐採による CO_2削減量計算式について数度の意見交換会を行いました。市と協働により「簡易スミヤケール」実演・講習会を開催しました。

3　事業効果と今後の取り組み

竹伐採と炭焼を通じて CO_2 を固定化し，温室効果ガスの増加を防止しました。また，県森林研究特別研究員の方と意見交換を重ねることにより実践的・正確・簡素な CO_2計算式が完成しました。環境講座，実演・講習会などを通じて他地区との交流が広がっています。活動を評価され国際ロータリー第2960地区から「キラリ☆一番星アワード」銀賞を受賞することもできました。

今後は，竹伐採の一連の作業過程で作業が滞るだけでなく，最も怪我が発生しやすい切断過程を機械化・自動化し，さらなる活動の効率化と安全性確保を考えています。また，講座を始め，里山保全に日々努力されている諸組織との協力体制を一層強化していきたいと考えています。

長さを揃えるため切断

竹割り作業

竹の切り出し

それぞれの作業を分担して行います

切り開かれて明るくなりました

伐採後竹炭となります

協働のまちづくり事業

補助事業7:北方地区環境美化事業

団体名	北方区自治会	参加者数	110人
活動分野	7:環境の保全を図る活動	役員・会員	10人
補助金額	500,000円	地区	東児
補助金の使い道	自走草刈機(2台) など		

1 地域の目的

若い世代の地域離れや，人口減少による地域活動の担い手の減少が環境保全活動の低下をまねいており，地域の環境維持が困難な状況になってきました。そういった状況の中，農業並びに生活環境を整備することで，地域住民の意欲向上のきっかけを作ることを目的としました。

2 事業内容

地区のふたつのため池(畑池，新池)への進入路の草刈を行い，100人規模の地域住民で，通学路(歩行者・自転車道含む)，河川，鉾立小学校～東児中学校までの通路及び水路，鉾立保育園周辺などを中心に草刈を行いました。

3 事業効果と今後の取り組み

いままで人手が十分確保できない状況で，手つかずの水路及び通路の整備ができました。草で覆われていた通路や水路の状況がわかり，危険個所の把握ができました。このことは防災の備えが必要か否かについて考える機会を生み，結果として地区住民の防災意識高揚につながりました。

また，この活動には通学路も含まれるため，見通しの悪い場所を減らすことで，交通安全や防犯などの分野で，間接的に教育支援ができていると考えています。年2回の活動を年3回に増やそうという積極的な案も出てきています。

自主防災活動は，単独地区で行うより，近隣他地区と連携すれば，より効果的で効率的だと考えます。自走式草刈機は，燃料・替刃等のランニングコストが必要になるため，その経費を捻出しながら，より持続可能な活動として，近隣他地区との連携をしていきたいと考えています。

作業前　　作業後

歩きやすい
通学路になりました

草で見えなく
なっていた
用水路も綺麗

動力草刈機
地区中で
大活躍しました

補助事業8:広岡地区の竹林、耕作放棄地の整備

団体名	広岡里山を守る会	参加者数	77人
活動分野	7:環境の保全を図る活動	役員・会員	77人
補助金額	58，360円	地区	荘内
補助金の使い道	鋸，簡易炭化炉(スミヤケール W)，刈払機　など		

1　地域の課題

広岡地区は地域住民の高齢化が進み，竹林の手入れが出来なくなっています。そのため既存の畑が使用不能になっています。

また，耕作放棄地も増加し，病害虫の発生も増えています。

そして，枯れた竹が多数倒れ，道路の通行を妨げ，電線にかかって危険な状態でした。

2　事業内容

地区内の各沿線や用水路沿いの竹林を，安全確保のため伐採・整備しました。伐採後の竹を使い，CO_2削減のため竹炭や竹酢液を作りました。

また，エコライフ玉野から竹炭製作の指導を受け，備前県民局主催の英田上山棚田団への視察に参加し，他団体との連携によりノウハウを学ぶことにも努めました。

3　事業効果と今後の取り組み

各所の整備が進み，荒れた竹林により危険だった道路の通行が可能になり，住民が安心して通行出来るようになりました。また，竹酢液を利用し，害虫駆除にも繋がりました。竹炭作りも行い，CO_2削減による環境への配慮も出来たように思います。

今後は今年度よりも活動を活発化させ，竹炭，竹酢液の量と品質をより良くし，竹林の異常繁殖を防ぎたいと思います。

荒れた竹林の整備と竹炭作り

雑草も綺麗に刈り取りました

補助事業9:藤井地区防災訓練の実施(津波を想定)

団体名	藤井地区自治連合会	参加者数	250人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	役員・会員	25人
補助金額	27,417円	地区	藤井
補助金の使い道	米,容器,割りばし,一升マス,お玉しゃくし,ブルーシート,ブロック,軍手,炊き出し用資材　など		

1　地域の課題

藤井地区は海と間近に面した地形のため、津波災害の危険性が高くなっています。有事の際には高潮や津波等で人命が危険にさらされないよう、速やかな避難が出来るよう訓練を実施する必要があります。

2　事業内容

地区住民の方々の参加により、高台への避難と炊き出しの体験を実施しました。あらかじめ町内ごとに設定している避難場所への避難を行い、その後集合して炊き出しを作りました。非常時の避難ルートや必要な資材の点検,避難場所の良否の検討も行われました。

3　事業効果と今後の取り組み

実際に訓練を行うと,思っていたよりも避難道の凹凸が多く,特に高齢者や車いす等で避難される方が苦労される箇所があることに気付くことができました。

また,玉野消防署との協力で,東日本大震災の被害 DVD を視聴し,津波の恐ろしさを改めて知ってもらう機会を得ました。

一年たてば,町内の構成状況も変化していくので,定期的に訓練の実施を継続していきたいと思います。次年度は避難される各人が避難袋を背負って避難する訓練としたいです。

今後,より多くの方が参加する仕組みを考え,実施したいと思っています。

協働のまちづくり事業

炊き出し訓練の様子

玉野消防署の職員さんによる，震災の映像上映やお話

最適な避難ルートや必要物資について話し合い

日頃から危機意識を持つきっかけになりました

補助事業12:「雪遊び」の行事

団体名	藤井地区自治連合会	参加者数	350人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	役員・会員	30人
補助金額	80，000円	地区	藤井
補助金の使い道	雪運搬費，開催案内チラシ，滑り台の機材借用料　など		

1　地域の課題

玉野市は県内でも南部に位置し，温暖な気候のため、雪が降る事自体が大変少なく子供たちが遊べる程積もる事がありません。その為、地区の子供たちが楽しく雪と触れ合えるよう、平成19年より実施しています。

2　事業内容

県北より12tの雪を藤井公園に運び，公園内に雪の小山（2か所）設置。地区の有志により土台を設営し，雪の滑り台を作りました。

また，雪の小山では子供たちが思い思いに雪で遊びました。

3　事業効果と今後の取り組み

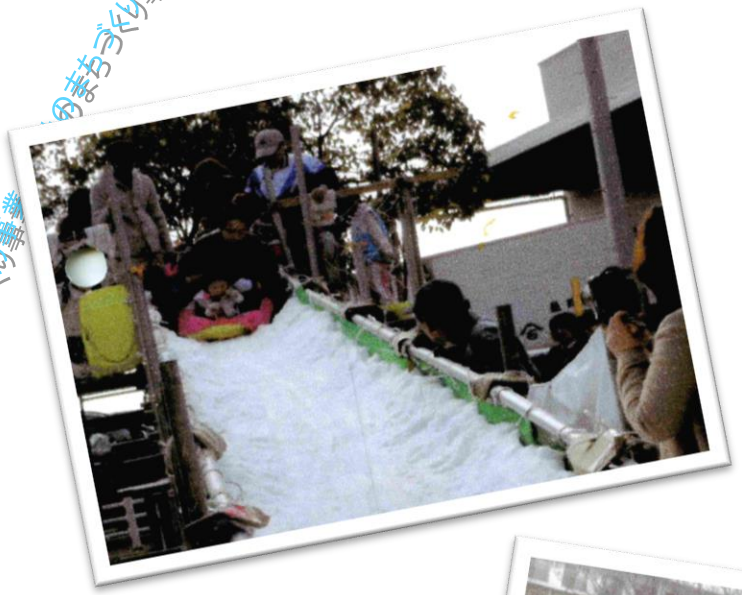
雪の滑り台は、お年寄りから子供まで老若男女問わず多くの方がそり滑りを楽しみました。

雪山では，珍しい雪を手で触れ，雪だるまや雪人形，小型のかまくらなど好きな物を作り遊んでいました。今年度より実施したアンケートでも，参加者からとても楽しかったとの意見を多くいただきました。楽しみにしていただいている方も数多くおられ，これからも継続していきたいと思います。

今後はより安全な形の滑り台を経験のない方でも短時間で組み立てられるよう検討します。

また，次の世代の方でも継続して行事が行える方式の確立や，より楽しんでいただける仕組みも考え，実行したいと思います。

協働のまちづくり事業



仲良く一緒に
そりすべり

雪山登りや
雪玉つくりも
楽しみました

補助事業13:しおさと狂言まつり

団体名	玉野しおさい狂言会	参加者数	延べ705人
活動分野	6:学術,文化,芸術又はスポーツの振興を図る活動	役員・会員	10人
補助金額	500，000円	地区	山田
補助金の使い道	報償費，広告費，五色幕製作・鏡板製作用原材料費，衣装借用料，飲料費　など		

1　地域の課題

製塩という玉野市のルーツ産業というべき塩づくりの歴史や文化が，市民の中で，ほとんど忘れ去られています。市が有する大きな遺産を生かし，玉野市の活性化に繋げたいと考えていました。

また，市民全体の文化に対する取り組みや意識の低さも感じていました。

2　事業内容

玉野市の製塩の歴史・文化を狂言という日本古来の芸能表現を用いて，「塩」をキーワードに玉野市の地域おこしと，文化振興を図りました。

新作狂言「東野崎浜」を作り，他の古典とともに文化会館等での公開練習や公演を行いました。

また，舞台背面に松の絵が描かれた板を「鏡板」と呼びますが，その鏡板を製作するワークショップを行いました。

3　事業効果と今後の取り組み

玉野市の製塩の歴史・文化を表現した新作狂言「東野崎ヶ浜」の制作，発表に対して，多くの市民から共感の声がよせられました。

舞台装置の「鏡板」を地元住民の方と一緒につくるワークショップを行い，狂言を身近に感じてもらい興味を持ってもらう事が出来たと感じています。

これらの活動を通して，玉野市の製塩の歴史や文化を学び，興味を持っていただけたと考えています。

しおさと狂言祭り
「東野﨑ケ浜」

鏡板製作と
公開練習風景

しおさと狂言祭り

日時:11/25(日) 14:00－16:00
場所:玉野市文化会館(玉野市築港1-10-10)

大人(大学生以上) 前売り1,000円 当日1,500円
以下500円 ※小学生以下無料
ウンター、玉野市文化会館、玉野市観光協会
057(斉藤)

芸術フェス実行委員会、田賀谷狂言会

番組:
古典狂言 「柑子」「呼殺」「口真似」
新作狂言 「東野﨑ケ浜」
古典狂言 「寝音曲」プロ狂言師による公演
出演者:田賀屋夙生、田辺大蔵

練習風景

補助事業14:第20回新春親子凧揚大会

団体名	築港東コミュニティ協議会	参加者数	378人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	役員・会員	90人
補助金額	89,568円	地区	築港
補助金の使い道	マイク，ハンドマイク，マイクコード・スタンド，乾電池，ボールペン，筆，マジック，賞状用紙，広報ポスター用紙，看板委託料(設営・撤去・保管)，飲料費　など		

1　事業目的

家族や地域等で人と人との絆が希薄化して地域は年々暮らしにくい環境となっていました。

そこで，日本古来の伝統的な遊びである凧揚げを通じて，三世代が交流する機会と次世代への文化の継承を行うことを目指しました。

2　事業内容

築港東コミュニティ協議会を中心として，築港西コミュニティ協議会，田井懇話会，宇野地区連合自治会の4団体が一体となり，凧揚げ大会を開催しました。

子供からお年寄りまで約400名の家族連れなどが参加し，凧揚げを楽しみました。参加者の大半が自作の凧を持参していましたが，会場内に凧の手作りコーナーも設置しており，凧をお持ちでない方にも参加いただけるようにしました。

また，凧のデザインコンテストも行い，様々な形や色の個性的な凧が空を舞いました。

3　事業効果と今後の取り組み

就学前の小さな子供からお年寄りまで，幅広い年齢層の参加者が集まり，親子のみならず，**世代間交流**が活発に行われました。複数のコミュニティが協力して行うため，参加者も複数地域にまたがり，普段はあまり交流の無い他地区のコミュニティとの交流を図る事も出来ました。

今年度で20回目の節目を迎える事が出来ましたが，来年以降も継続して凧揚げ大会を開催していきたいと思います。よりスムーズな大会運営や広報活動にも努めていきたいです。

協働のまちづくり事業

開会式
約450人の方々が、力作の凧を持参して参加してくれました。

地区で協力して運営しています。

今年も良い年に・・・。

デザイン審査中です。

表彰式
みんながんばりました。

補助事業15:東児地区ローカルヒーロー事業

団体名	岡山南商工会	参加者数	約20,000人
活動分野	4. 観光の振興を図る活動	役員・会員	18人
補助金額	500，000円	地区	東児
補助金の使い道	衣装，小道具，スタッフジャンパー，DVD作成費，HP作成費，ロゴイラスト作成費，車輌レンタル料，音響機械代，簡易テント，クリーニング代，飲料費　など		

1　地域の課題

玉野市では，若い世代の地元への愛着・理解が薄れ，人口流出が続いています。また，東児地区でも過疎・高齢化が進んでいます。その為，玉野市内外へ地域資源などの情報を発信し，知名度の向上を計る事が重要となっています。

2　事業内容

玉野市及び東児地区の地域資源などの知名度向上のため，**ローカルヒーロー「東児ライダー8」**を平成23年に結成しました。玉野市や岡山市の保育園や小学校へ訪問し，子どもたちと触れ合い，イベントに参加して，“東児”の名称や特産品をヒーローショーや握手会などを通じて広報しました。

またホームページやフェイスブックなどインターネットを活用しての広報も行い，幅広く情報発信を続けています。

3　事業効果と今後の取り組み

市内にはローカルヒーローを結成している団体も個人もないため，イベント等への出演機会は多く，効果的にPRを行う事が出来ています。出演依頼も増え，活動エリアも今後より広がっていくものと思います。玉野市外からの大きなイベントへ出演することが出来，メディアに取り上げられる機会も増えました。

今後はHPのより一層の充実を図り，さらに宣伝効果を高めることで，現在よりも出演機会の増加を得られると考えています。またイベントにてホームページの告知を行い，認知度向上を目指しています。

Youtubeで検索
東児ライダーエイト

東児ライダーエイト8 ホームページ＆季刊情報誌

出演スケジュール　大きいカレンダーをみる

2013年 5月　印刷

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	5月1日	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	6月1日

Google カレンダー

東児ライダーエイトからのお知らせ

2013年5月7日　5月19日玉野市宇野駅前で開かれるたまの港フェスティバルに東児ライダーエイトと噂のヒーローがやってくる！
→こちらからチェック！

2013年5月7日　東児ライダーエイトHP完成しました！

東児ライダーエイトYoutubeで動画配信中！！

東児ライダーエイト
いいね！ 107

レシーバーやテントで東児ライダー8の活躍をサポート

愛車に乗ってポーズ！

競輪選手たちと共演

協働のまちづくり事業

補助事業16:子育てワークショップ

団体名	玉野・灘崎子ども劇場	参加者数	80人
活動分野	13:子どもの健全育成を図る活動	役員・会員	53人
補助金額	100,000円	地区	市内
補助金の使い道	講師料，交通費，宿泊費，チラシ用紙・印刷代　など		

1　地域の課題

未来を担う子どもたちと，それを見守り育てる大人たちに，楽器を自ら作り上げ，演奏することを通じて，「想像する力」や「考える力」を育て，豊かな人間力の形成を目指しました。

2　事業内容

総合工作芸術家「だるま森」へ講師を依頼し，**「紙で作るおもしろ楽器教室」**のワークショップを開催しました。身近な素材である牛乳パックを土台に，アフリカの民族楽器カリンバを作りました。3時間ほどのワークショップで，参加した親子連れによって，思い思いの色・デザインのカリンバが出来上がりました。

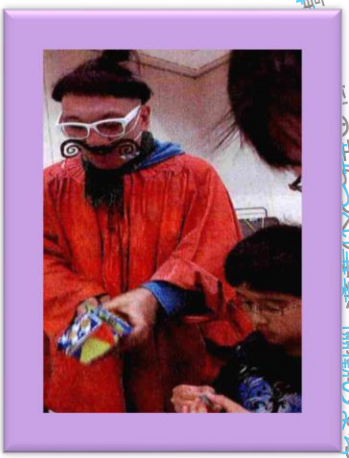
制作後は自分で作ったカラフルなカリンバでさっそく音を出し，音楽を楽しみました。

3　事業効果と今後の取り組み

玉野・灘崎子ども劇場の会員だけではなく，一般の方にも参加していただけた事で，いつもの仲間だけではなく，見知らぬ人同士が交流するきっかけにもなりました。また，親子でものづくりをする楽しさをみなさん感じられたようで，実施したアンケートでも「また作ってみたい。」という声が多く寄せられました。

今後はものをつくるだけではなく，表現力や文章力の向上に資する活動にも取り組んでいきたいと考えています。

協働のまちづくり事業



総合工作芸術家
『だるま森』さんと
楽しい楽器作り

補助事業17:ノルディックウォーキング普及事業

団体名	パラダイス玉野	参加者数	延べ 262 人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	役員・会員	9人
補助金額	207，542円	地区	市内
補助金の使い道	携帯型拡声器，広告用紙，インク，ブルーシート，資格取得研修費，講師料，のぼり，ポスター製作費，ポールレンタル料，保険料，飲料費　など		

1　事業目的

ノルディックウォークを通した活動により，高齢者の健康を増進しながら，社会活動への参加を自発的に促すことを目的とし，活動しました。

2　事業内容

深山公園で6回，田井みなと公園から高辺山で1回の計7回，ノルディックウォーク大会を開催しました。大会以外にも田井地区の有志が約10人程集まり，8回延べ48名のウォーク指導も行いました。

3　事業効果と今後の取り組み

ノルディックウォーク大会の回を重ねるごとに，口コミ等で参加者が増え，リピーターも多くなっていきました。目的の高齢者の健康づくりも，「身体の調子が良い」というご意見を多数いただき，効果を実感しています。

また，市内のみならず，岡山市や倉敷市など市外からの参加者も増えており，玉野市がノルディックウォーキング先進地として注目を集めるようになりました。

来年度は更に開催回数を増やし，各地域での自主的な集まりが出来るよう市内の活動者増加を目指していきます。

今後，玉野市がノルディックウォークのメッカとなるよう，尽力していきたいです。

出発前の準備運動

しっかりストレッチ

いざ出発！

皆さん元気いっぱいです

山道もスティックがあるから登りやすい

会話もはずみます♪

テンポよく1，2，1，2！

補助事業18:地域環境整備事業

団体名	たかの巣町内会	参加者数	150人
活動分野	7:環境の保全を図る活動	役員・会員	67人
補助金額	9，980円	地区	玉原
補助金の使い道	一輪車，草刈鎌，ポリ袋，飲料費　など		

1　事業目的

地区内の清掃を通じて，身近な地域の環境整備に携わることで，より一層の地域住民が自発的にまちづくりへ参加していくような意識づくりを目指しました。

2　事業内容

町内会区域全域の市道，側溝，公園の清掃・草刈りを，6月10日，11月18日，3月17日の年3回実施しました。同時に，町内の玉原川の清掃も行いました。

6月10日には，玉原志池区域の清掃にも参加しました。

3　事業効果と今後の取り組み

清掃と整備を進めることで，町内が美化され，衛生状態が向上しました。河川や側溝の清掃を行う事で，台風等大雨の際にも水の流れを阻害しないよう災害に対する備えも進めることが出来ました。

この活動は町内会を設立して以来実施しており，良好な地域環境の維持のために，今後も継続していく予定です。

協働のまちづくり事業

川掃除の様子

住民総出で協力します

こんなにたくさん集まりました

道路も水路も綺麗に

補助事業19:藤井”里山★玉仙岩”整備活動

団体名	藤井地区里山づくり研究会	参加者数	延べ406人
活動分野	7:環境の保全を図る活動	役員・会員	55人
補助金額	222，386円	地区	藤井
補助金の使い道	チェンソー，チップソー，目立て機，作業道具，ロープ，替刃，建材，ペンキ類，燃料費，飲料費　など		

1　地域の課題

藤井地区の裏手に隣接する民有林の山が管理不十分で，以前は誰もが気軽に登ったり遊んだり出来る場でしたが，現在は木々が生い茂り，大きな木が倒れているなど危険な状態です。

この裏山は，地区住民3町内（約60世帯）が津波時の避難場所に決めています。有事の際に避難場所として機能するよう，整備が急がれています。また，防災面だけではなく，以前のように，地域住民が気軽にふれあえる里山としての役割も求められています。

2　事業内容

頂上までの登山道に枕木を取り付け階段状に改良するとともに，ルートを分かりやすくするため案内看板を設置しました。頂上付近と，標高60m 付近の整備を行い，津波時の避難場所及び経路の確保と同時に「つつじ広場」を作り，憩いの場となりました。

「玉仙岩」の歴史的背景について調査を行い，歴史的財産や情報等の掘り起しを行いました。

また機関誌を発行し，情報の発信に努めました。

3　事業効果と今後の取り組み

有事の際の備えのみならず，気軽に登山できる明るく過ごしやすい場所へと改善する事ができました。「以前は別の場所へ行っていたけれど，ウォーキングに行くのを藤井に変えた。」という声も耳にし，地域住民に親しまれる憩いの場として活用され始めているようです。

今後は各所の急な階段を緩やかな勾配のルートへ改良していきます。

また，「玉仙岩」の情報の掘り起しも更に取り組み機関誌を通じて積極的に情報発信していきます。

見晴しも良くなり，桜を植えました

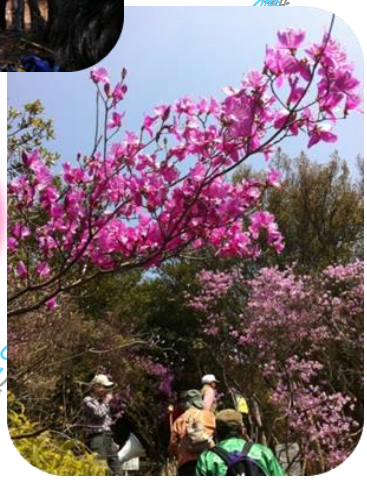
杭と横木で階段づくり

登山者に分かりやすい様，案内看板を設置

側溝の機能回復作業

竹やぶの整理

春にはつつじが咲き誇りました



補助事業20:田井歴史散策ウォーキング

団体名	田井はつらつクラブ　たいよう	参加者数	39人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	役員・会員	5人
補助金額	92，400円	地区	田井
補助金の使い道	印刷代，講師・ガイド謝礼，コピー用紙，保険料，飲料費　など		

1　事業目的

長生きをするだけではなく，いつまでも楽しく健康に過ごせるよう，俗にいう「ぴんぴんころり」を目指した快適な生活環境の実現のため，行政に頼るだけではなく，地域住民同士でコミュニケーションを取りながら行うことを目指しました。

2　事業内容

田井地区内には，史跡，寺院，自然が多く，楽しみ学びながら散策を楽しむことができます。

そこで，「田井歴史研究会」が発刊した，「田井いまむかし史跡めぐり」の冊子にある5コースを，ボランティアガイドの説明を聞きながら歩きました。

3　事業効果と今後の取り組み

同じ地域に住み，顔は見たことがあるけれど，名前も知らず挨拶も交わしたことのない者同士が，この事業をきっかけになじみができ，コミュニケーションが図られる場面も見られました。参加者の3分の1が男性であり，歴史探索という企画であることがきっかけに多数の方の参加を促すことができました。

ガイドを依頼した「つつじの会」の方々も良く勉強されておられ，丁寧な説明が好評でした。

今回新たに分かった田井の歴史について，さらに調査をし、今後今回の実施の5コース以外のウォーキングコースを新設し，さらに地域住民の交流の場を提供できる企画を立案していきたいです。

佐々木久信の墓

田井八幡宮

山の上の史跡も元気に登りました

普段意識しない場所にも史跡が

三軒屋・岡鼻にある地蔵尊

童崎の塩竈神社

協働のまちづくり事業

補助事業21:「塩づくりの里・山田」の歴史散策ルート作り

団体名	山田まちづくり講座	参加者数	120人
活動分野	3:まちづくりの推進を図る活動	役員・会員	8人
補助金額	500，000円	地区	山田
補助金の使い道	委託料(看板製作費，看板表示文編集・校正)，プリンター用インク，消しゴムハンコ，コピー代，HPサーバーレンタル料　など		

1　事業目的

山田地区に残る塩業の歴史的遺産を，地区住民はもとより玉野市民に広く知ってもらい，地域に対する誇りと愛着を深め，地域コミュニティの連帯や支え合いの気持ちを育むことを目的に活動しました。

2　事業内容

昨年度はその取り組みの一環として，「塩づくりの里・山田散策地図」，冊子「塩づくりの里・山田」およびホームページを制作しました。そして今年度は，遺跡や遺構のそばに案内板を設置し，また，散策ルートを確立することで，実際に現地を訪れた人がその存在をより深く知る仕組みを構築しました。

散策ルートを設定するにあたり，案内板の設置方法や保守管理要領の内容を決めるため，合計24回の会合，打合せおよび現地確認を行いました。

また，11月に開催した「しおさと狂言まつり」公演会場にて製塩写真のパネルを展示しました。

平成25年3月に案内板を設置し，お披露目を兼ねて「浜子径(みち)スタンプラリー」を開催しました。

3　事業効果と今後の取り組み

山田地区の魅力を知り，製塩の歴史をめぐる散策ルートができました。また，案内板の設置により，現地を訪れた方が，地区に残る製塩文化の歴史と遺産や遺跡の由来について，その場で知ることができるようになりました。

今年度は予算の関係で，看板設置が計画全体の半分のみとなっています。次年度に，残り半分を設置し，散策ラリーを開催するなど，「しおさと山田」の意義を更に広めたいと考えています。

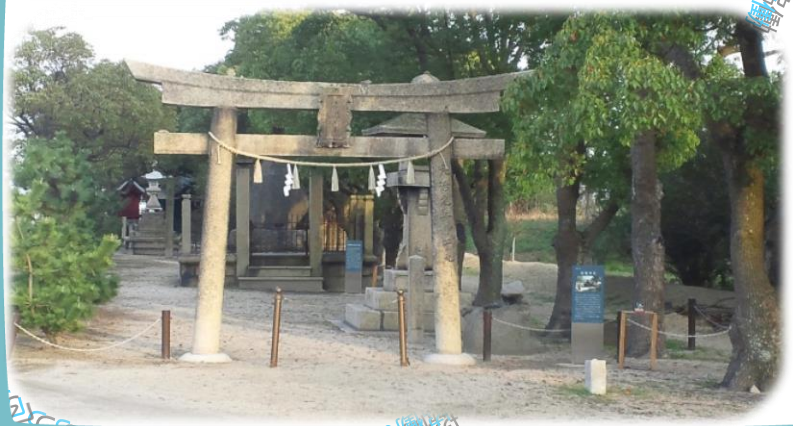
協働のまちづくり事業

塩田と対岸を結んだ開閉橋

塩田から塩を運んだ港

専売局・文庫

塩竈神社



補助事業22:SNSの活用による玉野活性化事業

団体名	玉野ソーシャルネット研究会	参加者数	119人
活動分野	14:情報化社会の活性化を図る活動	役員・会員	11人
補助金額	100,000円	地区	市内
補助金の使い道	講師謝礼，賃貸料(会場費)，宿泊費，領収書，朱肉，ペン，入場券用紙代　など		

1　地域の課題

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略)とは，登録者同士がインターネットを活用してコミュニケーションをはかる Web サイトを指します。新たなツールとして定着しつつありますが，玉野市内では利用者数がまだまだ少なく，活用できていないのが現状です。簡単に様々な情報を入手・共有することも出来る便利なものですが，市民間での情報格差を小さくするためにも，普及・活性化を促進する必要があります。

2　事業内容

毎月第4火曜日に『楽彩工房』にて SNS の一つ「Facebook」の勉強交流会を開催しました。7月，10月には外部よりコンサルタントの先生をお招きして講演会を開催しました。

3月からは，「瀬戸内国際芸術祭」の応援に参加するなど，SNS を活用して玉野の情報を広く発信しています。市内で行われる，渋川藤まつり，たまの・港フェスティバルおよび宇野港ゆめ市場等のイベントに関する情報発信にも協力し，まちづくりに貢献しています。

3　事業効果と今後の取り組み

のべ100人以上の方が勉強会や講演会へ参加され，SNS を活用する情報発信について，多くの方が関心を持って勉強する機会を創出できました。地元の人々の交流を促進するとともに，25名の市議会議員が参加されたことから，玉野市の SNS に対して市議会の更なる理解を得ることができたと感じています。市内での Facebook 人口が800人から2400人以上に増加したことに，当会の活動も貢献していると自負しています。

今後も活動を継続し，玉野市のソーシャルネット活用者を増やしたいと考えています。

熊坂仁美先生
による講演会

真剣に
耳を傾ける
参加者

新しい繋がりが
生まれるきっか
けになりました

補助事業23:宇野電子町内会　パソコン教室

団体名	宇野地区連合自治会	参加者数	延べ100人
活動分野	14:情報化社会の活性化を図る活動	役員・会員	10人
補助金額	98，960円	地区	宇野
補助金の使い道	講師謝礼，プロバイダー料金・サーバー代，消耗品費(インク，用紙など) など		

1　事業の目的

宇野地区連合自治会は，災害時に正確な情報の受発信ができるような人材を育成したいと考えています。地域の方々が，パソコンやインターネットを活用し情報を受発信する技能を学びながら地域の絆を深め，災害時に役立てられることを目的にしています。

2　事業内容

講師の方をお招きして，パソコンの講習会を毎月2回の計24回，携帯電話の講習会を年2回行いました。

パソコン講習会では，インターネットの検索方法や閲覧，Facebook の使い方，写真を撮影してパソコンで閲覧する方法，カレンダーや年賀状の作り方などを通じて，情報の受発信等について学びました。携帯電話講習会では，メールの使い方や災害時の安否確認の方法などを学びました。

3　事業効果と今後の取り組み

便利だと分かっていても，パソコンの使い方が分からない方も，電源の入れ方から始まり，マウスの使い方など徐々に習得していき，自分なりの作品を作成できるようになりました。メールの送受信や災害時の対応などについてはもっと時間をかけて学ぶ必要がありますが，仕組みを理解し，発信方法を習得できました。

受講者が高齢であるため，前回習ったことを忘れてしまい，機器を使いこなすにはかなりの時間が必要となりますが，中高生など若い世代の力を借りて1対1の講習ができるようにしたいです。

会員同士で教えたり教えられたりの人間関係が構築され，つながりを作ることができました。参加者数も増え，ここで生まれたつながりを地域づくりに生かせるようにしていきたいです。

協働のまちづくり事業

勉強会の様子
初心者も上級者も集中して勉強しています

補助事業24:渋川海岸活性化プロジェクト

団体名	玉野市サッカー協会	参加者数	計250人
活動分野	6:学術，文化，芸術又はスポーツの振興を図る活動	役員・会員	10人
補助金額	320，000円	地区	渋川
補助金の使い道	講師謝礼，旅費・交通費(航空運賃，タクシー)，会場使用料，看板製作委託料，講師宿泊代，振込手数料　など		

1　地域の課題

渋川海岸は誇りと愛着を深めることが期待できる財産でありながら，それを十分に生かせていない状況でした。「日本の白砂青松百選」や「日本の渚百選」に選ばれている渋川海岸を全国発信し，夏の海水浴期間のみならず年間を通した賑わいの創出が必要であると思われます。

2　事業内容

ビーチサッカーの拠点とすることや全国大会等主要大会の誘致を目的に，渋川海岸に日本　サッカー協会　最高顧問　川淵　三郎氏を招聘し，現地視察及び広く市民を対象とした講演会を開催しました。

また，玉野市総合運動公園におけるちびっ子サッカー大会の視察を実施しました。幼児期に身体を動かすことの喜びや重要性を伝え，玉野市におけるサッカー協議の普及・振興を図りました。

3　事業効果と今後の取り組み

「夢があるから強くなる」をテーマにした講演会開催し，スポーツを通じた青少年の健全育成に寄与しました。

平成18年度から継続開催している「おかやまビーチサッカー大会 in 渋川」を引き続き開催するとともに，平成26年度開催の全国大会誘致に向けた活動を実施します。

この度の PR 活動により，渋川海岸について全国に情報発信できたため，地域の賑わい創出やシティセールスに期待がもてます。

今後も景観の美しい渋川海岸を守ることを通じ，活気ある町を築いていきたいと考えています。

渋川海岸で開催されたビーチサッカー大会の様子

活動後，平成26年ビーチサッカー全国大会開催が正式決定

協働のまちづくり事業

補助事業26:「玉野出身アーティスト」ふるさとLIVE

団体名	特定非営利活動法人　楽彩工房　TAMANO	参加者数	96人
活動分野	6:学術，文化，芸術又はスポーツの振興を図る活動	役員・会員	18人
補助金額	128，393円	地区	市内
補助金の使い道	アーティスト出演料・交通費，音響オペレーター委託料，ポスターチケット製作費など		

1　地域の課題

玉野輩出の著名人に対し，市民の関心は非常に低く，特に音楽の分野について応援していく組織・団体はほとんどありません。レベルの高いミュージシャンの招聘は難しく，地域の音楽レベルの向上を図れない現状です。

2　事業内容

玉野出身の高満洋子（宇野出身・東京在住）氏，吉永正己（築港出身・東京在住）氏の 2 名を招き，LIVE イベントを実施しました。

玉野出身のミュージシャンに親近感を持ってもらえる，地元ならではのイベントとなりました。

また，両名の全国的な活動を通じ，「玉野市」を発信してもらい玉野市の知名度の向上をはかりました。

3　事業効果と今後の取り組み

プロのステージを企画したことにより，「お金を払って良いものを　観る」という意識を持ってもらう足がかりになったと思います。玉野の音楽レベルの向上は，豊かなまちづくりにつながると考えます。

玉野市出身のアーティストのことを知らない市内外の方にその存在をアピールするとともに，玉野でこのような音楽イベントを企画・運営する組織について PR でき，身近で良質な音楽に触れる体験をしていただく良い機会となりました。

今度も玉野輩出のミュージシャンを発掘し，紹介していけるイベントを企画し，地域の若い世代の育成を目標としたコラボ企画を計画し，玉野の音楽文化の土壌を固めていこうと考えています。

高満洋子さんによるのびやかな
歌声が会場を包み込みました

楽彩工房
ふるさとライブの
様子

吉永政巳さんはアコースティックギターによ
る弾き語りで会場を盛り上げました

玉野市協働のまちづくり事業事例集

発行年月日　平成26年6月
編　　集　玉野市総務部協働推進課
玉野市宇野1－27－1
TEL （0863）32-5567